

## 製版の基本知識を知ろう!

今回のテーマは製版ですが、その前に...印刷のしくみを知っていますか?

### 【基本】その① 【オフセット印刷(平版)】

#### 【原理】

版は平らで水と油が反発する性質を利用した印刷方式です。画線部を親油性、他を親水性にすることでインキを一度ゴムのブランケットに転写してからブリキ板に移す(オフセット方式)ため、版は正像になります。平版のほとんどがオフセット方式などでオフセット印刷が平版の代名詞のように使われます。

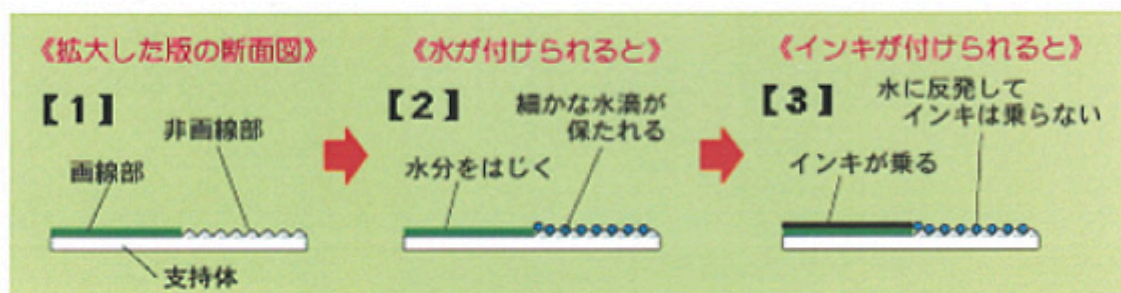
#### 印刷原理



#### 【特徴】

あまり圧力をかけずに印刷するためインキが均一に乗り、ベタ面や網点、細かい文字なども鮮明でシャープに表現できます。

最近では環境に配慮した設備やインキなどが積極的に導入されています。大量印刷に向いていながら、精度の高い印刷手法になっています。



【1】画線部(色が付く所) 非画線部(色を付けない所)

【2】画線部は水をはじく性質を持っているので、水分が残りません。

しかし非画線部では表面に非常に細かな凸凹(砂目)があって、水分が残ります。

【3】その状態の版に対してインキを乗せます。インキは油と同じような性質があることから、

画線部上には、水分がないのでインキが付き、非画線部では水と反発してインキが付かない。

このようにオフセット印刷は、水とインキの微妙なバランスの上で成り立っているのです。

【次回7月1日(第38号)では製版作業から色校正、下版までの工程をお話します】

協 力/マイニユート製版(株)